



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶



2018年
12月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



十一月二十日(火)、ホワイ
トパーク／お菓子の城を会場に
「二〇一八経営研究集会」が開
催されました。会の内外から約

一七〇名が集い熱気溢れる大会
となりました。
基調講演の講師には、介護事
業、在宅・訪問マツサージ、障
害者福祉事
業、治療室
などを手掛
ける(株)エイ
チ・エス・
イー、代表
取締役・田
中勉氏(神
奈川同友会
／副代表理
事)を迎え、

「働く人が
主役の会社
を目指し
て!」価値
観の異なる
人が集まる
からこそ人
は成長する
〜と題し
て、会社設

立の経緯や特徴的な組織づくり
と社内での実践、そこにかける
想いをお話いただきました。
十八年間のサラリーマン生活
で感じた働くことへの疑問、答
えを求めて社会学を学び、しっ
かりとした組織を創りたいと起業
した設立の経緯、会社は社会の
縮図であるという基本的な考え
方などを説明した後に、同社経
営における「七つの重要項目」
を実践事例を交えて一つずつ紐
解いていった田中氏。人事評価
制度の廃止や働く人が自ら働き
方を選ぶ選択制民主主義(エン
トリー制度)の導入、それを可
能にする意志決定プロセスの開
示や業務内容に対する労働対価
の明示など、特徴的な取り組み
を紹介する田中氏の言葉は、同
社の業績が裏付けとなり、参加
者の胸に深く刻まれたに違いあ
りません。
基調講演後のグループ討論で
は、「社員一人一人の個性を生

かす仕組みとは」のテーマで意
見交換。自社の課題や展望、経
営者としての考え方をそれぞれ
が交流し、明日へのヒントを持
ち帰りました。
参加者アンケートには「あた
りまえではなく、感謝しあえる
組織をつくりたい」「働く人の
権利を守るブレない姿勢が主体
性を育み、社風となる」「権利
は平等に、結果は公平にという
言葉が印象に残った」などの感
想が寄せられていました。



働く人が主役の会社を目指して!

2018経営研究集会を開催

学びを実践して会社が伸びる

伊勢崎・桐生・太田支部10月合同例会

十月二十五日(木)、冠稲荷神社テニスクラブを

会場に「伊勢崎・桐生・太田支部合同10月例会」を開催し、当



日は東毛三支部を中心に支部の枠を越えて約七〇名の参加者が集まりました。

講師には、教育ソフト「天神」の企画開発と販売を行う(株)オ、代表取締役・井内良三氏(滋賀同友会)をお迎えし「学びを実践して会社が伸びる」ありたい姿へ近づきたい」と題して、会社立ち上げの経緯から今日までの経営体験をお話しいただきました。

講演に先立ち、本例会を企画し、開催に向け尽力した元滋賀同友会会員で現在は群馬同友会会員の遠藤裕之氏(株)遠藤製作所/太田支部)が、滋賀での活動を中心に講師紹介を行いました。

井内氏は、社名に込められた意味を丁寧に説明したうえで「自己実現の支援が起業の想いであり、自分自身の使命でもある」と、起業当時の心境を語りました。また、天神の販売代理店トップ三社の契約解除と類似商品を販売されて訴訟問題へと発展したことにより、売上が八十五%減少した経営体験を「売上の推移が山頂の形と似ているのでマッターホルン経営と呼んでいる」と自虐的な笑いを交えて振り返りました。同友会への入会は丁度その頃で、例会を始めとする各種活動における出会いや学びから「すぐやる・全部やる・ことんやる」「明るく・朗らかに・面白がつて」などのプラス思考を身につけ、具体的に会社へ落とし込んで



といった実践事例を丁寧に紹介していただきました。

八〇分の講演終了後は、同会場にて交流会を実施。普段なかなか顔を合わせることはない会員同士が、井内氏を囲んで時間いっぱいまで懇親を深め、講演の感想や学びの共有、仕事の相談など多岐に渡る話題で会場は盛り上がりました。

参加者アンケートには「プラス思考で考え、行動することの結果は良くなっていく」「自主Ⅱ自分が主役、わかりやすい解釈で真似したい」などの感想が綴られていました。

キーパー財務18・経営羅針盤18



財務の力を経営の力に

キーパー経営羅針盤18なら、会社でも自宅でも自社の財務状況をリアルタイムに把握し、チェックすることが可能です。

同友会 高崎支部会員

株式会社 **シスプラ**
http://www.syspla.co.jp/

☎ 0120-638-377

群馬県高崎市同慶町 3-10-3 同慶町センター第2ビル
TEL.027-363-8377 FAX.027-363-8313

S/S 株式会社 エス・アイ・エス

企業の様々な課題をコンピュータシステムで解決！
(自動化、効率化、見える化、高速化)

★システム化事例

生産管理、工程管理、ガントチャート工程管理、在庫管理、原価管理、調達管理、図面配布管理、計測器貸出管理、販売管理、工事書類一括作成、耳標管理、安否緊急通報、ルート配達管理、他

ソフトウェア、ハードウェア、ITサポート、ITコンサル、IT環境構築

お気軽にご相談ください。Tel: 0274-63-0466

〒370-2312 富岡市星田632-1 http://www.sis-jpn.co.jp/

それは本当に無駄な物ですか？

前橋支部10月例会



十月十七日（水）、前橋支部十月例会（工場見学例会）を開催しました。見学先となったのは、産業廃棄物処理業の㈱ナカダイ（管理部長・越知靖政氏／前橋支部会員）の駒形工場。リサイクル率九九％以上を誇る処理工場を隅々まで回り、金属やプラスチックなど様々な廃棄物を手作業で分別する様子や、大

型機械で破碎する様子を肌で感じました。定刻の十六時に集合を終えた参加者一同は、三班に分かれて工場見学をスタート。越知部長・神戸部長・坂本課長補佐の案内を頼りに、台貫計量による荷受・プラスチック選別場・蛍光灯破碎機・発泡溶融機・木くず粉碎機・RPF製造機などを

順を追って見学しました。普段は見る機会のない廃棄物処理の現場を目の当たりにし、参加者それぞれに考えさせられる部分があったものと思います。また、多種多様なマテリアル（原材料）を展示販売する「モノ・ファクトリー」も興味深く見学しました。

その後、越知氏が「廃棄物からわかる会社の将来」と題して報告。産業廃棄物の定義や処理法の枠組み、廃棄物処理業界と他業界の違いなどの基本情報の説明に続き、ESG投資やSDGs、プラスチック廃止や中国による廃プラ輸入禁止の動きな



どの紹介を踏まえたうえで「世界的に環境意識は高まっている。意識の低い企業は顧客から選ばれなくなっていくのではないか」との見解を示しました。報告終了後は「これからの廃棄物（ゴミ）に対する取り組み、考え方で気づいた点」をテーマ

地域密着の衣料品店を目指す

沼田支部10月例会



十月二十三日（火）に行われた沼田支部例会は、和装、洋装、学生服、作業服、名入れ加工などを取り扱う、たかはし呉服店、店主・高橋圭介氏（同支部）が「衣・食・住、地域の『衣』」衣料の多様化は顧客ニーズの多様化か？」と題して、これまでの経営体験を報告しました。

創業明治四〇年、曾祖父が行商として始めたという同社の歴史を端的に紹介した高橋氏。地域密着型営業の強みと弱みを考える中で「衣料品を扱うスー

パー・百貨店の台頭やカジユアル化によって無意識に顧客の買い物（買い方）が変わってきた事を感じる」と振り返りました。今後については「オーダーのプリントTシャツやリメイク事業（布団の打ち直し）など、新

にグループ討論を実施。「ゴミをゴミにしない努力は各企業で能動的に行える」「問題の本質は経済優先志向の改革ではないか？」「捨てる側の責任を痛感。学校や企業、地域社会で、捨て育を徹底するべき」など、活発な意見が交わされました。

たな商品アピールしていききたい」と報告をまとめました。

報告後のグループ討論では、討論テーマよりも、どうすればたかはし呉服店がもっと良くなるのかという意見交換となり、各グループで具体的なアイデアや業種が違うからこそその指摘などが飛び交い、いつにも増して盛り上がりました。

現在の立ち位置と目指すべきリーダー像

桐生支部10月例会

十月十八日(木)、桐生プリオパレスを会場に「桐生支部十月例会」を開催。「次世代のリーダーに必要な視野と思考を共に学び高め合う『プラス集団』の創出」を設立の目的・趣旨に掲げ、満を持して今夏より活動をスタートさせた徳井塾のメンバーが「現在の立ち位置と目指すべきリーダー像」をテーマに報告しました。

一人あたりの持ち時間は十分間。数年後に事業承継を控えた後継者、部門の責任者、あるいは将来的に幹部として会社を担っていくであろう人材など、それぞれ現在の立ち位置に違いはあったものの、目指すべきリーダーに不可欠な要素として「客観的に物事を見る力」「明確な判断基準と判断力」「取引先や社員に対するコミュニケーション能力」「考えをカタチにする行動力・実行力」などを挙げ、合わせて自身の課題を語りました。



報告終了後は「経営者が求めるリーダー



像」をテーマにグループ討論を実施。「部下育成の視点、会社にとって良いか悪いかを考える視点の外せない」「指示待ちではない、経営参画できる人材」「目指すべきリーダー像を明確に持ってほしい」など、活発な意見が交わされました。

今回の例会を迎えるまでに四回開催された徳井塾では、会員経営者を招いての講話をはじめ、各メンバーによる実践報告やグループ討論、お酒を酌み交わしての語らいなどを通して学び合ってきました。今後の支部例会でも定期的に徳井塾の発表会を開催していく予定。さらなるメンバーの成長が期待されます！

聞いてください！私の悩みⅡ

渋川吾妻支部10月例会

渋川吾妻支部の十月例会は、「聞いてください！私の悩み・パート2」と題して、益央工業(株)の若き後継者、島崎亮介氏が報告しました。

いつも明るく元気な印象の島崎氏ですが、実は大学時代、あることがきっかけで就職活動の時期に軽いうつ病となり、家から一歩も出られなくなってしまうという引きこもり生活を経験しました。体調も徐々に回復すると、リベンジを誓い就職のた

めに留年。しかし、就職活動の時期になるとトラウマが……。結局就活は断念し、おからを原料とした猫砂を製造する同社へ卒業と同時に入社しました。そして半年後には同友会へ入会。熱心に参加しながら後継者への道を着々と歩んでいます。

ところが今回、失望、落胆、自分への嫌気と、負のスパイラルに陥ってしまいそうな状況にいることが赤裸々に報告されると、誰もが驚きを隠せませんでした。



とは言え、それぞれが「みな同じような経験をjて今があるのだから心配ない」ちよつとスイッチを切り替え、こう考えればよい」等々、熱い叱咤激励を贈りました。

「一人の悩みにみんながこうして真剣に応える姿に感銘。あらためて同友会には良い仲間がいると実感した！」という、ある参加者の感想がすべてを物語っているかのような例会となりました。

家族経営から企業経営へ

富岡支部10月例会

妙義ナバファーム・黛佐予さんは、東京農業大学を卒業後、高校で生物の教員を六年間勤め、縁あって妙義ナバファームの社長と結婚、三人のお子さんのママに。

東日本大震災を期に家業の手伝いをスタート。平成二十七年、取締役に就任され、グローバルGAPの取得や事務、内部組織の構築に注力されています。さて、妙義ナバファームは松

井田町に本社を置き、椎茸・舞茸・きくらげを栽培し、大手スーパー・生協・市場・加工工場・レストラン等へ販売しています。生産量はそれぞれ年間千五百トン・百トン・三〇トンと、想像を遙かに超えた規模です。

一三〇名の従業員さんがおり、収穫・パック詰めは手作業とのこと。関連会社が三社有り、菌床自体も生産しています。

菌床栽培は周年出荷が可能で、安心安全な製品の管理面、また重労働の軽減化などの良さがあり、業界全体でも今は九割が菌床栽培だそうです。

寡占化が進み、ライバル同業他社大手は無人工化を推し進めており驚異のことでした。

そんな中、佐予さんは同友会富岡支部と縁あって自社の問題点を見つめ、解決の方法を勉強されています。

今回も、日々の生産



量に波があることや、季節によって需要の変動が激しいこと、リーダーが育っていないことなど、自社の問題点を赤裸々に語って頂きました。

その他にも慢性的な人手不足や高齢化、最低賃金の引き上げ、ブランド力アップなど、課題は尽きないようでしたが、「自分達が日本の農業や食を支えているんだと誇れるような会社づくりをしたい」とのこと。素晴らしいと思いました。

佐予さんは明るく朗らか。社長を支え、カリスマ義母の跡継ぎになることでしよう。今回は素晴らしい報告をありがとうございました。

(※富岡支部ブログより抜粋)
(文/柳下仁田納豆・南都)

1社危うし、1商品危うし、1業種危うし

高崎支部10月例会



十月二十六日(金)、高崎支部十月例会を開催。結婚式・各種宴会事業などを手掛ける(株)出雲、代表取締役・中野賢幸氏(渋川吾妻支部)が報告者を務め、「一社危うし、一商品危うし、一業種危うし」をテーマに、自身の経営体験を語りました。

県内初の総合結婚式場として開業した同社。売上がピークだった二十四年前に「このままでは続かない」と、いち早く危機感を抱き、果汁一〇〇%シャーベットや高級アイスクリームなどの製造・販売に乗り出しま

す。現在は全国約一四〇〇社以上と取引するまでに成長しましたが、そこに至るブランド戦略や商品開発秘話、建物や人材の活用術などをエピソードを交えて紹介しました。また、自社の基本理念、お客様が満足するの意味を説明して「良い商品を作っても売れない。お客様にとって必要な商品を作るのが大切」との考えを語りました。

報告終了後は「自社の事業・商品・サービスの将来性はどうか？」をテーマにグループ討論を実施。各テーブルで活発な意見が交わされました。



コミュニケーションの円滑化に アンガーマネジメント研修



コミュニケーションサポート

代表 齋藤由起子 氏 (桐生支部所属)

Q & A

▼自己紹介

日本航空（JAL）の国際線キャビンアテンダントとして勤務した後、平成六年にコミュニケーション・マナー研修講師として独立しました。現在は企業・病院・介護施設におけるマナーや部下指導、営業マン育成などのビジネス研修のほか、小中学校の教職員や児童生徒、保護者向けのセミナーなども数多く行っています。近年は県内外の小中学校に年間で五〇校近く伺っています。

来年秋に開催される茨城国体・全国障害者スポーツ大会の運営ボランティア（延べ五二〇〇人）を対象にした研修会では、あいさつの基本から立ち振る舞い、言葉の使い方まで、ボランティアに必要な知識とマナーの指導を担当しています。

▼イチオシ

怒り（anger）の感情を衝動にまかせて爆発させるのではなく、上手にコントロールして適切な問題解決やコミュニケーションに結びつけることを「ア

ンガーマネジメント」と言います。職場の人間関係やトラブルを背景に企業からも注目が高まり、社員研修への導入が広がっています。

アンガーマネジメントにおいては、決して「怒らないこと」が正しいわけではありません。怒る必要があるときはしっかりと怒り、その必要がないときには怒らないようにするのが大切です。言うなれば「上手に怒るためのテクニク」になります。

ある調査によると新卒社員の退職理由（三年未満）の五〇％以上が職場の人間関係やコミュニケーションに原因があるそうです。また、コミュニケーションが円滑になると生産性が約三割改善されるとも言われています。



す。そうした職場の人間関係やコミュニケーションの円滑化に、アンガーマネジメントは絶大な効果を発揮します。ぜひ自社の社員研修にも取り入れてみてはいかがでしょうか？

▼経緯

研修を行うなかで「コミュニケーションを阻害しているのは個々人のストレスやイライラではないか」と感じ、日本アンガーマネジメント協会認定コンサルタントを取得しました。それ以降、大人から子供まで様々な参加者を対象にしたセミナーの講師を務めています。怒りの感情との付き合い方を学ぶアンガーマネジメントは、年齢や性別、経営者や社員などの立場を問わず、たくさんの気づきが得られると思います。

同友会では桐生と富岡支部の例会をはじめ、会員企業様でもセミナーをさせていただいております。参加した皆さんからは「今まで怒りを論理的に考えてこなかったが、その仕組みが良く理解できた」「怒りとの上手な付き合い方が知れた。仕事はもちろんプライベートにも生かせそうだ」など大変ご好評いただいています。

▼展望

学生時代、保健室の先生に思春期特有の不安や悩みを相談した経験のある方もいらっしゃると思います。私も会社の外部からではありますが、保健室の先生のように社員さんの不安や悩みを親身になって聞ける存在になりたいと思っています。

アンガーマネジメントだけでなく、幅広い分野の研修に対応しています。社内研修の内容にお困りの方、あるいは会計事務所や社労士事務所などでセミナーを企画中の方など、ぜひお気軽にご相談ください！



所在地／みどり市大間々町高津戸885-1
連絡先／TEL 090-2148-5990

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【開学35周年の記念礼拝】

新島学園短期大学

新島学園短期大学（学長・岩田雅明氏／高崎支部所属）は10月23日、同短大礼拝室で「開学35周年記念礼拝」を開き、学校関係者や来賓ら350人が参加した。記念礼拝で岩田学長は「女子の4年制大学進学志向などにより短期大学を巡る状況は厳しいが、学生や教職員からは、2年間の学びに対するニーズと期待、意欲、情熱を感じ取ることができる。ここでの2年間で学生にとって、その後の人生を支えるものとなるように教職員一丸となって全力で取り組みたい」と述べた。

また、今年5月に国登録有形文化財に登録された研究棟の登録証の披露も行われた。今回登録された建物は1956年に旧高崎市立女子高校円形校舎として建築されたもの。鉄筋コンクリート造3階建て塔屋付きで、建築面積は491平方メートル。施工は信澤工業。県内で唯一の円形校舎で、全国的にも数少なく、歴史的価値や希少性が評価された。

[11/1付ぐん経]

【カフェやスパ、ジム複合施設】

(株)メモリード

冠婚葬祭サービスの(株)メモリード（取締役・渡辺秀信氏／前橋支部所属）は、フィットネスジムやスパ、カフェなどを組み合わせた会員制複合施設の運営に乗り出す。高崎市上大類町の結婚式場「グランドパティオ高崎」を閉館し、改修して活用。来年2月の開業を目指す。中高年を中心に幅広い年代が出会い、交流できる場を提案。ニーズを踏まえて多店舗展開も検討する。

吉田社長は「利用者が自由に施設を使い、育ててほしい。グランクラブに行くのが『楽しい』『モチベーションになる』と思えるような施設にしたい」と力を込める。複合施設運営を今後の事業の核と位置付ける。需要をみた上で、前橋市や太田市、埼玉、東京などへの出店を検討するという。

[11/2付上毛]

【新社屋・新店舗を計画】

(株)高崎松風園

造園設計・施工・メンテナンスなどを手掛ける(株)高崎松風園（代表取締役・山口俊輔氏／前橋支部所属）は、現本社のそばに新社屋と新店舗を建設する。このうち新店舗は花木や苗、ガーデニンググッズなどを販売、カフェスペースを新設し“滞

在型”を目指す。1日に関係者ら約20人で地鎮祭を開催。19年4月の完成を予定している。

山口社長は「開かれた社屋を目指して計画した。店舗も長い間くつろぐことのできる滞在型を目指している。植木の展示販売にも力を入れていきたい」と話している。

来春以降、第二期工事を計画しており、本格的なカフェの併設などを予定している。

[11/8付ぐん経]

【群銀私募債 みどり市に10万円】

(株)メモリアル

葬祭業の(株)メモリアル（代表取締役・松村道子氏／桐生支部所属）は16日、群馬銀行の「ぐんぎん地方創生私募債」を活用し、みどり市に10万円を寄付した。松村社長が市役所を訪れ、須藤昭男市長に目録を手渡した。松村社長は「地元の皆さんの応援でここまで来られた。少しでもお役に立てれば」と話し、須藤市長は「貴重な寄付をありがとうございます」と感謝した。同私募債は、企業が発行した私募債額の0.2%分を、学校や自治体に寄付する仕組み。同社は5千万円発行した。

[11/17付上毛]

【群銀私募債 前橋市に10万円】

(株)ソウワ・ディライト

電気工事などを手掛ける(株)ソウワ・ディライト（代表取締役・渡邊辰吾氏／高崎支部所属、取締役・渡邊仁基氏／前橋支部所属）は21日、群馬銀行の「ぐんぎん地方創生私募債」を活用し、前橋市に10万円を寄付した。市役所で贈呈式が行われ、渡邊CEOが山本龍市長に目録を手渡した。渡邊CEOは「市に恩返しできれば」と述べた。市はシティープロモーション事業で活用する予定という。同私募債は、企業が発行した私募債額の0.2%分を、学校や自治体に寄付する仕組み。同社は5千万円を発行した。

[11/22付上毛]

【社名変更】

(株)タカラ電器、代表取締役・新井あけみ氏（太田支部所属）では、この度、「(株)タカラコーポレーション」に社名変更しました。

【取締役部長就任】

(株)エイゼンコーポレーション・降旗剛氏（前橋支部所属）は、この度、「取締役部長」に就任しました。

部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が来ました。
好評「部品加工のマテハン」

URL: <http://www.kk-matehan.co.jp/>
E-mail: mtmh@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名
代表取締役 島山 淳
群馬県太田市矢田堀町351-6
TEL 0276 (37) 4571
FAX 0276 (37) 4562

安全と安心のトータルソリューション

KB 関東防災工業株式会社

～消防設備と電気設備の設計・施工・保守、消防用品の販売に加え

雷が落ちない本当の避雷針(PDCE)の販売、防災コンサルティングまで～

◆本 社／前橋市高井町一丁目29-7
TEL: 027-251-3535 FAX: 027-251-3540

◇安中営業所／安中市西上磯部1736
TEL: 027-385-5261 FAX: 027-385-5291

新会員
ご紹介11 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(株)グッドスタイル



代表取締役

石 原 健
S55年生〒376-0013 桐生市広沢町6-90-1
TEL : 0277-46-9940
FAX : 0277-46-9941

車関連補修業(アルミホイールリペア・カーコーティング・インテリアリペア・ルームクリーニングなど)

【紹介者/尾花靖雄】

自動車の内装リペア・アルミホイールの修理・コーティング・ルームクリーニングなどのカーディティール業です。また家具(ソファ・テーブルなど)やフロアリングなどの補修も行なっております。

桐生支部

(株)サンエイ



代表取締役

中 西 聡 之
S49年生〒370-0524 邑楽郡大泉町大字古海736-2
TEL : 0276-63-3611
FAX : 0276-63-4871断熱材の加工及び販売
カメラ、ギター、読書、ゴルフ

【紹介者/遠藤裕之】

当社は、工業製品や建設業向けの断熱材・緩衝材・防振材部品の加工販売を通して省エネの実現や、静かでクリーンな周辺環境づくりに取り組んでおります。研修や皆様と情報交換で学んだことをお客様へ役立よう実践していきたいと思っています。よろしく願いいたします。

太田支部

第7回
理事会報告

日時 十一月六日(火)

十八時三十分

会場 同友会事務所・会議室
出席者(順不同・敬称略)正副代表理事/澤浦、田村、提
箸、常任理事/戸塚、吉池、町
田、阿久戸、増田、中野、小林、
水野、宮田、植杉、理事/杉崎、
佐藤、丸橋、本多、布施、篠原、
金井、佐藤、関口、浅井、事務
局/黒岩、阿久澤、竹内(役員
計二十三名)

【議事】

太田支部の布施氏が議長をつとめ、澤浦代表理事挨拶のもと、第七回理事会開会(山岸代表は岐阜同友会で報告)。

挨拶に先立ち、社員教育活動に尽力された故・村山秀樹氏へ黙祷を捧げました。

I. 報告・連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告

青年部会より「跡取り物語シリーズ」例会の案内、広報委員会より同友ぐんまホームページへの広告掲載依頼がありました。

2. その他

○群馬同友会としても後援している「イノベーションアワードファイナル」の案内がありました。

II. 審議・承認事項

1. 経営研究集会の最終確認

間近に迫った経営研究集会に向けて最終確認が行われるとともに、中野実行委員長より、参加動員への協力が依頼されました。

2. 新年度の理事候補者選任についての確認

新年度にむけて、理事の選任スケジュールが確認されるとともに、各支部(部会・委員会)へ理事候補者の推薦が依頼されました。

3. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の入会者一名、退会者二名を承認。会員数は変わらず五四二名となりました。

III. その他

1. 近況報告会

半年ぶりに参加者全員による近況報告会が行われ、それぞれの業界動向や各社の状況を共有しました。

2. 次回の理事会開催日程

第八回理事会を左記の通り開催することが確認されました。

日時：十二月四日(火)

会場：同友会事務所・会議室

これからもお客様の信頼を糧に

私たちは、
それは
未来の地球のために、
そしてお客様にも、
やさしい企業であること。

「水なし印刷」をお薦めします

「水なし印刷」は、有害な廃液を含む湿し水を一切使用せず
現像工程の現像液使用量・廃液量も大幅減、またCO₂排出量も削減します。
環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
私たちは、これからも環境に、お客様にやさしい企業を目指します。JOBU PRINTING CO., LTD.
TELEPHONE 027(352)7445 FACSIMILE 027(352)2953
E-mail: eigyo@jp-t.co.jp URL: http://www.jp-t.co.jp

上武印刷株式会社 〒370-0015 高崎市島野町890-25



アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : http://www.apm-f.com E-mail : fuse@apm-f.comアルマイト・メッキ(亜鉛、ニッケルetc)・真空蒸着
含浸処理・塗装(UV、粉体、溶剤、カチオン)

上毛電化 株式会社

ISO9001:2015認証取得 エコ・アクション21認証取得

〒375-0056 群馬県藤岡市三ツ木336-6
TEL : 0274-24-3228 FAX : 0274-24-4841
URL : http://www.alumite.jp/ E-mail : joumou@vesta.ocn.ne.jp
関連会社(表面処理) ヘイワテクノ株式会社 株式会社高橋塗装工業所